

漆がもっと好きになる。

漆 DAYS 漆 いわて

URUSHI DAYS IWATE 2018

～岩手から漆文化と漆の魅力を発信～

[入場無料]

～岩手の漆を感じる2日間～

漆 DAYS いわて 2018

【同時開催】漆サミット 2018 in 岩手

11月23日(金) 24日(土) 2DAYS

10:00～17:00

10:00～16:00

会場：いわて県民情報交流センター「アイーナ」

岩手県盛岡市盛岡駅西通1-7-1 TEL. 019-606-1717

23日(金) 10:00～ 漆サミット 2018 オープニングセレモニー

基調講演 人間国宝 漆芸家 / 室瀬 和美氏

基調講演 (公財)日光社寺文化財保存会 / 佐藤 則武氏

会場 / アイーナ 8F 804 会議室

23日(金) 24日(土) いわての漆器展示販売

安比塗漆器工房、うるみ工芸、エキチカの漆市、滴生舎、丸三漆器ほか、岩手県内の漆製品も多数出品。

23日(金) 24日(土) 全国の漆器展示

日本漆器協同組合連合会に加盟する全国の漆器産地から代表的な漆器を集めて展示します。産地それぞれの特徴を知ることができます。

23日(金) 24日(土) 漆トークイベント

関美工堂 関昌邦氏など、漆に携わる様々な専門家、岩手県内の塗師のトークイベントを実施します。

23日(金) 24日(土) 漆ワークショップ・体験

来場者に、より身近に漆の魅力を体験していただけるよう、人気の「漆の金継ぎ」、「漆アクセサリー制作」、「漆器の絵付け」など、参加型の体験コーナーを設けます。

※一部のワークショップは事前申し込みが必要です。詳しくは裏面をご覧ください。

イベントの詳細は、Facebook ページでご案内いたします。

※漆サミット 2018 in 岩手は、日本漆アカデミーが、文化庁「ふるさと文化財の森システム推進事業」普及啓発事業の一環として実施するものです。

漆を「知る」「学ぶ」「触れる」「買う」を体感



漆サミット 2018 基調講演 23日(金) 会場/8F 804 会議室

漆 DAYS いわた 基調講演 23日(金) 会場/8F 804 会議室

「国産漆使用 100%化を目指した 国宝・重要文化材建造物の修理」



10:15 ~ 11:15

室瀬 和美氏

漆芸家 / 重要無形文化財「蒔絵」保持者

1950年生まれ。東京藝術大学大学院修士課程(漆芸専攻)修了。75年に日本伝統工芸展に初入選。以後入選回数は30回を超える。国内外の展覧会に作品を多数発表すると共に、文化財の保存修復活動にも携わる。91年、目白漆芸文化財研究所を開設。2008年に蒔絵の重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定される。同年紫綬褒章を受章。日々、漆文化の発信を積極的に行っている。

「日光の建造物漆塗 漆の役割」



11:20 ~ 12:20

佐藤 則武氏

(公財)日光社寺文化財保存会

塗装の専門学校を卒業後、内装の会社に就職。100年残る仕事にたくて1972年(財)日光社寺文化財保存会へ。現在は漆塗管理技術者として、漆塗りだけでなく施工管理から調査研究まで行う。世界遺産に含まれる103棟ほとんどの修復に携わってきた。また、日光の社寺修復に必要な上質な浄法寺漆を入手するために、二戸市に実施している浄法寺漆共進会にも毎年参加している。

漆 ワークショップ URUSHI WORKSHOP



「漆の金継ぎ入門」

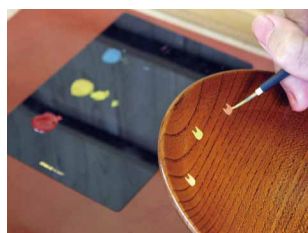
漆を使って割れたり欠けたりした陶磁器や漆器を修復する技法(金継ぎ)を学べるワークショップ。デモンストレーションで全体の流れを見て学びます。また作業の一部を体験できます。

講師: 田代 淳氏

東京生まれ。安代町漆器センターで研修し、1999年より山形県真室川町うるしセンター勤務。2010年独立し、盛岡で制作を行う。※今回のワークショップでは、金継ぎが完成しません。完成させるためには、田代氏が岩手県公会堂で実施している金継ぎ教室に通うことで、金継ぎが完成します。

23日(金) 8F 805 会議室
① 10:00 ~ ② 14:00 ~
所要時間: 3時間 定員: 各6名

参加費: 4,500円
※事前予約制、空きがあれば当日受付可能です。



「漆皿の絵付け体験」

漆を三色(黄・赤・青)使って、お皿にお好きな絵を描いていただく体験です。お皿の大きさは13.5センチで、デザート皿としてお使いいただくのにぴったりです。

講師: 安比塗漆器工房

旧安代町は良質の漆と原木に恵まれ、藩政時代より「荒沢漆器」として広く知られていた。戦後プラスチック漆器の台頭などで生産が低迷していたが、安比塗漆器工房ではこの伝統を受け継ぎ、新たに「安比塗」として使いやすい漆器を作りつづけている。

23日(金) 4F 県民プラザ
① 11:00 ~ ② 14:00 ~
24日(土) 所要時間: 1時間 定員: 各10名

参加費: 5,000円
※事前予約制、空きがあれば当日受付可能です。



「漆でアクセサリを作ろう」

漆の塗膜や、漆が染み込んで固まった和紙などを使って好きなようにデザインした漆のアクセサリ(イヤリングやピアス等)を作ります。

講師: 柴田恵理子氏

二戸市出身。大学に通いながらシルバーアクセサリの教室に通い、卒業後勤務していたカフェにてアクセサリ販売を始める。アメリカに滞在後、日本の浴衣を使ってアクセサリを制作し始める。さらに滴生舎に使用し続けた漆器の美しさを見て漆を使用したアクセサリ作りを始めた。

23日(金) 4F 県民プラザ
① 10:00 ~ ピアス・イヤリング
24日(土) ② 13:00 ~ ベンダント
所要時間: 90分 定員: 各7名

参加費: 2,500円(材料費込)
※事前予約制、空きがあれば当日受付可能です。



「漆を磨いて 漆キーホルダー作り」

漆の塗膜を布で磨くことで艶が生まれてきます。お好きな絵柄のプレートを選んで、自分だけの漆キーホルダーを作ることができます。

講師: 滴生舎

天台寺・御山の山麓に建つ滴生舎は、「浄法寺漆」を使った漆器の展示販売している施設。漆掻き職人が丁寧に集めた漆の一滴一滴から、暮らしによりそ器をつくりだすことで「浄法寺漆の世界」を伝えている。

23日(金) 4F 県民プラザ
随時受付 各日限定100個
24日(土) 所要時間: 10 ~ 15分

参加費: 800円(材料費込)
※当日、会場にて参加受付します。

漆 いわたの漆器展示販売 URUSHI SELECT SHOP



漆 DAYS いわた 2018 in TOKYO での展示

参加企業

- 安比塗漆器工房 (八幡平市)
- うるみ工芸 (盛岡市)
- エキチカの漆市
- 滴生舎 (二戸市)
- 丸三漆器 (一関市) ほか
- 岩手県内の漆製品も多数出品。

漆 トークイベント URUSHI TALK 会場/4F アイーナスタジオ

23日(金) 12:20 ~ 12:40 漆サミット講演会

「漆のある暮らし方、遊び方」

関美工堂/関 昌邦氏



1967年、福島県会津若松市生まれ。宇宙開発事業団(現JAXA)を経て2003年に株式会社関美工堂に入社、2007年代表取締役社長に就任。新しい会津漆器のブランドを立ち上げ、会津塗りの新規地を開拓。また会津の様々なローカル素材のプロデュースにも携わる。受賞歴等: 日本ロハス大賞2016(ノミネート)、J-Wave デザインアワード2015(ノミネート)、経産省 The wonder 500 2015-2016 選出、現代茶湯アワード2013特別賞「利休にたずねよ」賞、グッドデザイン賞2012

24日(土) 10:00 ~ 12:00 漆サミット講演会 「縄文の漆」

明治大学/阿部芳郎氏・能城修一氏・本多貴之氏

12:00 ~ 12:50 漆サミット講演会 「国産漆を活用して漆利用を考える」

中山哲哉氏 (j's 株式会社)・七代金城一國齋氏 (漆芸家)・宮腰哲雄氏 (明治大学)

13:00 ~ 13:30 「漆・ふしぎな樹液」

塗師 エキチカの漆市主催 AONSIWATE 稲垣元洋氏 ※2018グッドデザイン賞受賞者

13:30 ~ 14:00 「漆女子トーク」

塗師 安比塗漆器工房/工藤理沙氏・岸田奈津希氏

14:00 ~ 17:00 漆サミット講演会 「国産漆を活用して地方創生を目指す」

岩手県職員(県の漆振興の取り組み紹介)・宮原克人氏(筑波大学)・井波純氏(会津大学)・細川英邦氏(輪島市)

イベント内容に関するお問い合わせ
ワークショップの参加申し込み先

ジェイアール東日本企画盛岡支店内「漆 DAYS いわた 2018 事務局」
〒020-0034 岩手県盛岡市駅前通1番41号 JRビル2階

TEL.019-625-1342

メールアドレス:
urushi.iwate2018@gmail.com